

# 視聴覚教育

NO 47

発行日 53.11.15  
発行所 岡崎市AVL  
編集 広報委員会

## TP作成機市内13の学校に設置

—— 第二回次分の配布終わる ——

市当局の格別な配慮により、TP作成機（ビノファックス180型）が、このほど市内13の学校（小13、中4）に設置された。今月は、三年計画の第一年度にあたり、残る学校は来年度以降、設置される予定である。

この機器は、従来から普及しているトラペンアップの最高級機にあたるもので、黒発色はもとより、単色カラーシートを使えば一瞬にして美しいTPを作ることが出来る。そのほか、原紙の作成、コピーなどもでき、多目的利用が可能である。

なお、この機器の使用説明会は、11月18日に該当校のAVL主任を対象に行われる。その後各学校において伝達講習を開き、正しい操作と利用法を身につけていただく予定である。



## 牧野先生(三島)全国放送 教育論文みごと入賞

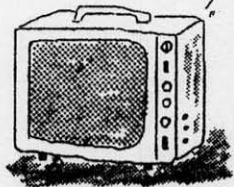
去る十一月九・十日の両日、徳島県で開催された全国放送教育研究大会において、本年度の学校放送教育協会論文入賞者の発表があった。

岡崎市からも、九名の先生がこの論文に応募したが三島小学校牧野伊佐夫先生は、みごと日本放送教育協会長賞受賞の栄に輝いた。この論文は、四戸簡にわたるテレビの親子同時視聴の実践をまとめたもので、子どもたちの主体的な学習をテレビの学び方に求めた事例を取り上げている。

また、このほかにも、佳作として、城北中学校 佐野旭先生、選外佳作にも、四名の先生が選ばれた。

市内全小中学校にカラーモニターテレビやビデオコーダーが設置されて以来、岡崎市の放送教育研究への実践は、着実に進められていくことが裏証されたと言、てよいであろう。

今後も、全国レベルで年度の濃い実践活動を続けたいものである。



# OHPを使用した算数の授業

大樹寺小学校 宥藤 幾子

視覚的技法をとり入れて、「かけ算」の導入授業をした。二五五ということで具体物(絵画)・オーバーレイを用い、視覚にうつたえようとした。その結果、導入の計算練習でOHPを使い、時間が短縮でき、効果的であったと思う。またの×をとりあげ、かけ算の意味を説明する時、オーバーレイを使用し、色も豊富なたの子どもの心を引くものがあり、よかったと思う。

また、低学年は、ノートのまどめが上手にできないため、困ってしまつことがある。その時は、かき方をすすめるのTPを使い、指示するとまよふことがなく、大変よいと思った。抽象から具体にかえる時も、OHPを使うとわかりやすいと思った。

ところが、やたらOHPを使用するのではなく、時と場合を考慮重要ポイントは黒板で、補助としてOHPを使用し、効果的に授業をすすめたつよいという「指遣い」がありました。これからも、機器の特性をまよへて利用したいと思う。



# 声

## 失敗は成功のもと

「食わず嫌い」ということをよく言うが、視覚機器を取り扱う場合には、この言葉がびつたりあてはまることが多い。

前任校において、いろいろな機器を取り扱う立場になり、TVカメラなどを操作する機会を時々得た。見よう見まねで始めたTVカメラの操作も、はじめのうちは屋外撮影なのにフィルターを付けたら失敗の連続であったが、こんなことをくり返しているうちに、だんだんとまともな撮影ができるようになってきた。まさに、失敗は成功のもとである。

最近の機器は、ちよつとした操作マニュアルすれば、素人でも簡単に使いこなせるものが多い。どんなことでも、まず、やってみるということが肝心である。

### 修学旅行用フィルムの

#### 予約は早めにし

修学旅行の事前指導に次のフィルムをご利用下さい。

「奈良、京都をたずねて」 カラー 20分

「歴史の都 京都」 カラー 30分

なお、短期間に集中すると思いますから、一枚一日とし、使用する学校は前に使った学校へとりに行つて下さい。

# ラブリダリ